

# とらすととれいん

No.102 2000

JUNE



茶畑の中を走るラストトレイン

## 沿線案内パンフレットを配る

4月22日の運転は、作業していると汗ばむほどのあたたかい春の一日となりました。沿線の茶畑も芽を伸ばし始めていました。

今回の運転では、沿線案内のパンフレットを配りました。今まで以上に、沿線案内のパンフレットを乗客の皆さんが沿線の景色を楽しみながら見ていただけたようでした。

## ボランティア作業報告

C12は6名が担当しました。いつもよりC12の準備が遅れていたようで、石炭の積み込み・給水を待って、およそ30分で慌しくプレート磨き、ヘッドマークをつけました。いつもながら、真っ黒になって作業しました。



慌しく作業を行なう



プレートを磨く初参加者

## 4月22日の運転状況

ボランティア参加者	18名
(初参加)	2名)
乗客数	下り 130名
	上り 31名
売上	20,000円
募金	13,152円

客車を運転しない間、客車3両の両脇の窓越しに「日本ナショナルトラスト所有車」の表示ができるように、大井川鉄道の清水専務から表示板を頂きました。

これに、順番を間違えないようにと裏側に番号を書きました。また、運転後表示をしてみました。



頂いた表示板に番号を書き込む



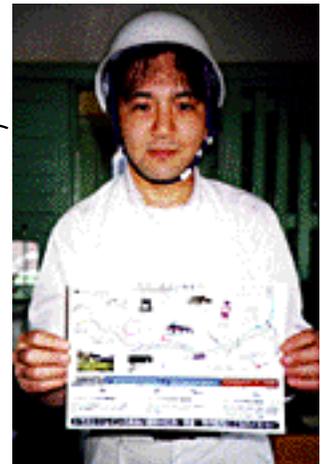
「日本ナショナルトラスト所有車」と表示をしてみました

## 運転状況

今回の運転はC12牽引のオリジナル客車3両編成で運転されました。今回の運転では、沿線案内のパンフレットをカラー印字し、乗客に配り好評でした。千頭駅到着後のミーティングで修正箇所のチェックをしました。

また、写真差し替え用に今回の運転での写真撮影も実施しました。これを元に、次回の運転ではNewパンフレットを完成させる予定です。スポンサーもつきましたから仕上がりが楽しみです。

## 作成者とパンフレット



前回の運転で、募金を1,000円以上頂いた方に「ポラロイド写真撮影を行ないます」としたところ好評であったので、今回も実施しました。前回、車内で撮影することが広角レンズでないため乗客が増えると困難になることから、千頭駅到着後に撮影しますという引換券を渡すことにしました。今回の運転でも好評で11名の方に利用して頂きました。但し、自分のカメラで撮って欲しいという方が多かったです。

とりあえず、募金には貢献できそうですので続けていきたいと思います。

千頭駅到着後、日頃なかなか拭けない外板を拭くことを前回行なったところ、からぶきだけでもきれいに汚れが落ちて輝きが出るのがわかったので、今回も行ないました。



車体を拭くとピカピカになります



新金谷駅でヘッドマークをはずす

今回の上り運転で、ヘッドマークを新金谷ではずすことを試みました。今までは、回送されてきた後、C12がどこに転線されるかを確認した後で作業していましたので、ヘッドマークをはずせるまでに時間がかかることがありました。今回のように新金谷到着後にはずせると、作業性が良くなります。但し、運転中ですので、運転手に合図する人、ヘッドマークをはずす人、ヘッドマークを受け取る人と作業を分担して行ないました。

### ミーティング

運転終了後いつものようにミーティングを行ないました。初参加の方からは「またきます」「初めてでまだまだ慣れないといった、次回の参加が期待できるコメントを頂きました。

気になる点として、スハフのモケットが傷んでいるものがあり、次回の運転日には修理しようということになりました。

### 事務局からの連絡

今回の運転には、米山さんと松本さんが3000の家山保管の件を大井川鉄道と打ち合わせをするために来ました。

米山さんより、長浜鉄道文化館が6月2日竣工、10月14日オープンに合わせて、北陸線関係（柳ヶ瀬旧線等）の資料をお持ちの方は、財団まで連絡していただきたい、とのことですのでよろしくお願いします。

## 5月27日の運転状況

ボランティア参加者	13名
(初参加)	2名)
乗客数 下り	124名
上り	161名
売上	22,000円
募金	2,494円



お座敷車両が連結されたトラストレイン

5月27日のトラストレインの運転は『SLジャストレイン』のイベントと重なリオリジナル客車3両にお座敷車両を含む2両が増結されました。今回の運転はあいにくの雨となりましたが、団体客とジャストレイン参加者で往復とも賑やかな運転となりました。折り返しの千頭駅でも大井川鉄道主催のハイキングやカヌーの大会等が重なリこの時期としてはかなりごったがえしていました。



プレートを磨く初参加者達

### ボランティア状況

今回の初参加者は女性2名でした。フォームAをみでの参加ということです。雨の中でしたがC12のプレートを磨いてもらいました。また、車販にも協力していただきました。

ボランティア参加を呼びかける記事には、乗車にかかる費用の記載がされておらず、ボランティアに参加して初めて費用がかかることを知るケースが多く戸惑われる方が多いようです。記事に費用のことも記載していただくよう財団にお願いしました。

### カラー化されたパンフレット完成

ダイドリンク 株 がスポンサーにいただいたおかげでカラー化した新しいパンフレットが、写真は酒井さん、原稿は渡辺さんの協力で完成し、今回の運転から配布しました。

内側の沿線案内図が好評で、車窓を楽しみながらパンフレットを見ているお客さんが多くなったように思います。また、我々が千頭駅で立ち寄るお茶屋の抹茶ソフトを紹介したところ、この店に寄るお客さんが増えたようで、パンフレットの効果が目に見えて表れていました。

カラー化された新しいパンフレット



## 車販・募金状況

今回の車販は絵葉書32部、長谷川さん写真集4冊と好評でした。募金はポラロイド撮影を500円以上の募金に値下げをしてみました。3枚でした。



### 設備関係

消火器更新(3ヶ所に交換と増設をしました。)スハフの電灯がなくなっていたのが2ヶ所。財団を通して電灯の設置をお願いしました。

電灯がない?

## モケットの傷み

スハフの座席のモケットの傷みが目立つようになってきました。

なんとか補修でつないでいきたいと思いますが、だいぶんうす汚れてきたようにも思います。



傷みの目立つ座席のモケット



## 民鉄完乗・おめでとうございます

偶然ということでしたが、神奈川の遠田さんという方がトラストレインで民鉄完乗を達成しました。おめでとうございます。10年くらいかけてコツコツと乗り潰しをされてきたそうです。

トラストレインで民鉄完乗

## 碓氷峠鉄道文化むら見学会行われる

鉄道サークルではかねてからお知らせの通り6月10日に、碓氷峠鉄道文化むらの見学会を行いました。

当日はあいにくの雨模様となりましたが、それでも18人が参加、子供連れのメンバーもいて、いつもとは違うアットホームな雰囲気を楽しみました。

上野駅から高崎線と信越本線乗り継いで、横川に到着、一時の熱狂的なムードはなくなり、静まり返ってはいるものの、数多くの伝説を生み出した聖地に一步足を踏み入れると、一瞬厳粛な空気に身を包まれます。

このまま文化むらに向かうのかと思いきや、腹が減っては何とやらとばかりに、駅前で弁当を広げる一同。そのまま昼食となり、先に着いたメンバーと合流して文化むらに足を向けます。

ゲートをくぐった我々を迎えてくれたのは、文化むらの職員の土屋さん。かつてはEF63の機関士として、今は運転教官として碓氷峠を見つめてきた歴史の証人です。

早速質問タイムとなりましたが、その大半は車両の維持管理に関するものが多く、それに対する土屋さんの答えは、決して文字やネットでは伝えられない、中身のある貴重なものでした。

その後は各自フリータイムとなって村内の散策となりましたが、さすがに2時間という限られた時間では全てを見るのは不可能。

そのため駆け足であちこちを回ります。(何せ誰一人として「あぷとくん」に乗っていないのですから、その忙しさは充分想像できるのではないのでしょうか)

それでも、日頃見ることのできない貴重な車両や資料と接することで「鉄道を文化として認めて欲しい」という土屋さんの気持ちを、各自が充分理解できたと思います。

EF63の前で記念撮影をした後は、懇親会のため高崎へ向かい、サークルの古参メンバー角田氏と合流。しかし最初に行こうとしていた店が準備中のため、急遽別の居酒屋で「お疲れさま!」となりました。

なお、碓氷峠鉄道文化むらでは、車両清掃等のボランティア活動を行うファンクラブ会員を、ホームページで募集しているので、興味のある方はアクセスしてみたいかがでしょう。

(アドレスは[www.interq.or.jp/japan/usuitoge/](http://www.interq.or.jp/japan/usuitoge/))

T: 隊長、このページの写真がまだ入稿されていません!!

W: 仕方ない、時間が無いのでこのまま発行するように。あとで、特攻隊のIIはお置ききだ。

会員の鈴木毅一さんより下記の投稿がありました。

前略 多忙の中、トラストレイン編集・出版の世話役活動誠にご苦労様です。

トラストレイン最新号に、ヨ5000の置き場所について、意見を求める記事がありました。サークル員に広く意見を聴取する活動スタイルは、現状を改善し再びサークルに活気を取り戻すためにも、大切な手法と存じます。「大勢の方」が意見を出し合う実績を作ることが、この際寛容ですね。よって、簡単に短く要約した投稿を差させて頂きます。

宜しくお願いいたします。

拝

1999年4月19日

鉄道サークル事務局・編集担当 御中

会員 鈴木毅一

[ ヨ5000の置き場所に関する投稿 ]

保存と公開は表裏の関係

サークルが今日までヨ5000の置き場所について、家山でサークルの事務所として補修日を中心に活用する、とのコンセンサスで大井川鉄道殿と折衝してきた経過は十分承知しております。そしてあの地に屋根付きの保存ランドの希望もありました。その形が具体化した場合は、保存車両の一両として家山に置くことも考えられましょ。

しかし、現状はただ単に置くだけで、当面年一～二回の補修時と物置としての活用になってしまう可能性大とならざるを得ません。

鉄道サークルは、(財)ナショナルトラストと車の両輪になって鉄道車両の保存をする団体として、保存に対し常に最適選択をしたいと思う、公益団体としてその保存形態は可能な限り公開でありましょ。この原則に立てば当面(動態化までの間!)千頭ではないでしょうか!

ヨの暖房器の多くが、ダルマから石油ストーブに変わってしまった中で、あの室内配置、整備すれば十分公開保存に値する車両ですね。

それにトラスト運転日、折返し時の一時間強を有意義に!それもサークルの活性化になりましょ。

(練馬区在住 会員 鈴木毅一)

前略 例会の時お話に出た原稿をお送り致します。

サークルですから率直な意見の交換が必要だと考えます。

ヨ5000の置き場所、此の原稿を書いた当時は、トラスト側が「家山」大井川鉄道殿は「千頭」を推奨されていたと記憶します。

そんな中で、保存活動をメインとする当サークルとして、何が大切なのでしょうかとこの立場で書いた投稿です。

先般の例会では大井川鉄道側が「家山」のご主張とか、、、不思議です。

会社組織では無いのですから、言い訳みたいなものは無用と考えます。

何が最適でしょうか?

5月23日

鈴木 拝

原稿が「紛失」されたことも付記願います。

# いんぷおめいしょん

## ヨ5000を守ろう! 修復募金募集中

ヨ5000の募金は引き続き行います。全面修復出きるまでにはあと20万ほど足りません。6月24日のトラストレイン運転日で見えてきた限りでは、一部雨漏りがしており、台風シーズンまでには屋根だけでもどうにか応急処置をしておきたいところです。

どうかご協力お願いいたします。

募金していただける方は、お近くの郵便局から郵便振替で

00140-7-408646 日本ナショナルトラスト鉄道サークル

または、財団事務局へお願いします。

## 小煙管贈呈イベントについて

7月15日のトラストレイン運転日には、今回の修復募金をいただいた方に、C12の小煙管を差し上げるイベントを行います。

鉄道サークルのメンバーは通常通りの集合時間(新金谷10時30分)になります。イベントは11時30分よりC12の前で行われます。したがって、通常のボランティア作業は30分ほど短縮されることとなりますので、是非とも人海戦術が必要となります。多くの方の参加をお待ちしています。

なお、イベントの都合上、オハ二車内での昼食の時間は取れそうありませんので予めご了承ください。

## 鉄道サークル定例会について

7月の鉄道サークルの定例会は、第3木曜日(20日)が、海の記念日にあたり祭日となりますので中止いたします。

次回定例会は、8月17日(木)です。お盆休暇でお休みの地方の方の参加もお待ちします。

午後7時より財団事務所 JR有楽町駅東京フォーラム側改札出て左。そごうデパートはす向かいの、一階に住友銀行が入っているビル8Fです)で行います。